

## (提案1)

若手アカデミー委員会運営要綱（平成21年6月25日日本学術会議第79回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後				改正前			
(略)				(略)			
(分科会)				(分科会)			
第4 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。				第4 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。			
分科会	審議事項	構成	設置期限	分科会	審議事項	構成	設置期限
学術の未来検討分科会	「日本の展望」等を踏まえた、未来において実現したいビジョンに基づく、学術の未来像の審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	平成26年9月30日	学術の未来検討分科会	「日本の展望」等を踏まえた、未来において実現したいビジョンに基づく、学術の未来像の審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	平成26年3月31日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)				(略)			

## 附 則

この決定は、決定の日から施行する。

若手アカデミー委員会分科会の設置について

分科会等名：学術の未来検討分科会

1	所属委員会名	若手アカデミー委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議では、2010年に「日本の展望」により、学術の展望とそのために必要な措置について包括的な視点を提示している。ここで、従来の日本学術会議会員・連携会員の年齢層より若い30歳から45歳を基本とする人文・社会科学、生命科学、理学・工学各分野の科学者により構成されている若手アカデミー委員会の下に分科会を設置し、「日本の展望」等を踏まえた、若手科学者による未来において実現したいビジョンに基づく学術の未来像について検討を行う。
4	審議事項	「日本の展望」等を踏まえた、未来において実現したいビジョンに基づく学術の未来像の審議に関すること。
5	設置期間	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時限設置</div> 平成24年3月16日～平成26年3月31日 (上記期限を平成26年9月30日までに延長)
		常設
6	備考	<b>※設置期限の延長</b> 報告書作成のため、これまで様々な社会的立場にある有識者に対し、広くヒアリングを行ってきたが、審議の結果、引き続きヒアリングの場を設け、より広い視野から最終的な報告書を作成すること等が必要であるとの見解が示されたため。

(提案2)

科学と社会委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後				改正前		
(略)				(略)		
(分科会等)				(分科会等)		
第2 委員会に、次の表のとおり分科会及び小委員会を置く。				第2 委員会に、次の表のとおり分科会及び小委員会を置く。		
分科会	調査審議事項	構成	備考	分科会	調査審議事項	構成
科学力増進分科会	(略)	(略)		科学力増進分科会	(略)	(略)
科学力増進分科会科学技術リテラシー小委員会	(略)	(略)		科学力推進分科会科学技術リテラシー小委員会	(略)	(略)
科学力増進分科会高校理科教育検討小委員会	<u>科学力増進の観点から高校教科「理科」における</u> ・学習内容の総括と科目再編成の議論 ・高校以降の進路を見据えた「理科」教育の充実に関すること	<u>15名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者</u>	<u>時 限 設 置：平成26年3月20日～平成26年9月30日</u>	(新規設置)		
(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)
(略)				(略)		

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

科学と社会委員会科学力増進分科会小委員会の設置について

分科会等名：高校理科教育検討小委員会

1	所属委員会名	科学と社会委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員, 連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者				
3	設置目的	平成28年度中の改訂と平成32年度からの全面実施が予定されている次期学習指導要領の高等学校教科「理科」について、科学技術立国として必要な科学力をさらに向上させる内容であるとともに、理工系に進学しない高校生にとっても魅力的かつエッセンシャルズな内容となることを目指し、教科の目的や科目の内容を広く検討し提言をまとめる。				
4	審議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の高等学校教科「理科」における学習内容の総括と履修状況の統計データのまとめ</li> <li>・物理、化学、生物、地学の4科目の設定の妥当性と、各科目間の履修者数における格差の存在を考慮した再編成の議論</li> <li>・大学で理科を専門として学ぶことのない生徒の社会人としての科学リテラシーの確保と、将来、科学・技術をさらに専攻する生徒が備えておくべき理科の内容を、いかにして両立させるか</li> <li>・大学入試における理科の選択科目としての取扱い</li> <li>・高校における理科教育方法と今後の教員養成のありかたに係る審議に関すること。</li> </ul>				
5	設置期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><b>時限設置</b></td> <td>平成26年3月20日～平成26年9月30日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">常設</td> <td></td> </tr> </table>	<b>時限設置</b>	平成26年3月20日～平成26年9月30日	常設	
<b>時限設置</b>	平成26年3月20日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	<b>※新規設置</b>				

【機能別委員会】

【小委員会】

○委員の決定（新規1件）

（ 科学と社会委員会 科学力増進分科会 高校理科教育検討小委員会 ）

氏名	所属・職名	備考	推薦
須藤 靖	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員	第三部
柴田 徳思	公営社団法人日本アイソトープ協会常務理事	連携会員	第三部
西原 寛	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員	第三部
渡辺 政隆	筑波大学教授・広報室サイエンスコミュニケーター	連携会員	第二部

(提案3)

分野別委員会運営要綱(平成23年9月1日日本学術会議第133回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
経営学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	経営学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	経営学委員会高齢者の社会参画のあり方に関する検討分科会	高齢者の社会参画のあり方の審議に関すること	10名以内の会員又は連携会員	時限設置: 平成24年6月22日～平成26年9月30日		経営学委員会高齢者の社会参画のあり方に関する検討分科会	高齢者の社会参画のあり方の審議に関すること	10名以内の会員又は連携会員	時限設置: 平成24年6月22日～平成26年3月31日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

経営学委員会分科会の設置について

分科会等名：高齢者の社会参画のあり方に関する検討分科会

1	所属委員会名	経営学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	我が国は、他国に例をみないほどの速さで高齢化が進んでおり、既に2010年に65歳以上人口が21%を超え「超高齢社会」に突入している。年金の支給開始年齢の引上げに伴い、企業も定年延長や継続雇用等の形で高齢化に対応してきているが、多くの日本企業は高齢者活用に未だ消極的で、高齢になっても個人の能力を発揮し続けられるような「生涯現役社会」の実現には至っていない。日本の高齢者は、他国と比較しても働き続けたいという意思が強いとされるが、現実には、定年後の社会参画が困難な状態を余儀なくされている。このような現状に鑑み、当分科会では高齢者が広く社会参画をしていくにあたり求められる企業経営のあり方や行政の役割、社会システムの変革の必要性等について、総合的に検討することを目的とする。
4	審議事項	高齢者の社会参画のあり方の審議に関すること
5	設置期間	<b>時限設置</b> 平成24年6月22日～平成26年3月31日 (上記期限を平成26年9月30日までに延長) 常設
6	備考	<b>※設置期限の延長</b> 報告書の最終取りまとめ等についてさらに議論を要するため。

提案4は提言等関係のため別添2を御覧ください。

(提案5)

日本学術会議の運営に関する内規（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(分科会等の委員)</p> <p>第18条 会則第28条第1項及び第2項並びに第6条の2及び第12条の規定は、分科会等に準用する。<u>この場合において、第12条第1項第1号及び第2号中「会長」とあるのは、「その分科会が置かれる委員会（小分科会及び小委員会の場合はその小分科会又は小委員会が置かれる分科会）」と読み替えるものとする。また、複数の分野別委員会により共同して置かれる分科会の場合は、第12条第1項第1号及び同条第3項に定める各部への推薦の依頼は、原則として主体となる委員会において行うものとする。</u></p>	<p>(分科会等の委員)</p> <p>第18条 会則第28条第1項及び第2項並びに第6条の2及び第12条の規定は、分科会等に準用する。</p>

附 則

この決定は、決定の日から施行する。



部が直接統括する分野別委員会合同分科会について（平成21年6月25日日本学術会議第79回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>第2 1～3 （略） 4 <u>当該分科会の委員の委嘱の手續については、日本学術会議の運営に関する内規（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）第18条の定めにかかわらず、同内規第12条第1項第1号及び第2号中「会長」とあるのは、「担当部」と読み替えるものとする。</u></p>	<p>第2 1～3 （略） <u>（新設）</u></p>

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

## 平成27年度共同主催国際会議候補

会議名		開催予定情報					
1	<b>北極科学サミット週間2015</b> Arctic Science Summit Week 2015(ASSW2015) ■母体団体：国際北極科学委員会 (IASC: International Arctic Science Committee) ■主催学会：国際北極科学委員会	参加人数	国外	200	同伴者	0	
	国内		200	同伴者	0		
	合計		400	合計	0		
	国数	[15カ国・地域]					
	会議内容	会議テーマ： 主要題目：北極海の海水減少、先住民への影響、モデリング観測など					
期間	平成27年4月23日(木)～30日(木) [8日間]	2	参加人数	国外	900	同伴者	0
場所	富山国際会議場(富山県富山市)			国内	700	同伴者	0
間隔	毎年 [日本開催：初]			合計	1,600	合計	0
国数	[58カ国・地域]						
会議内容	会議テーマ：「幕張：多くの西が多くの東に出会う場」 主要題目：東アジアのエネルギー安全保障、ユーラシアの人口流動と移民文学など						
既	<b>第12回アジア栄養学会議</b> 12th Asian Congress of Nutrition(ACN2015) ■母体団体：アジア栄養学会連合 (FANS: Federation of Asian Nutrition Societies) ■主催学会：公益社団法人日本栄養・食糧学会	参加人数	国外	1000	同伴者	0	
	国内		3000	同伴者	0		
	合計		4,000	合計	0		
	国数	[40カ国・地域]					
	会議内容	会議テーマ：「みんなの健康長寿のための栄養と食糧」 主要題目：栄養生化学、栄養生理学、臨床栄養学における非感染性疾患(肥満・糖尿病・循環器病・がん・低栄養等)、健康格差と栄養、災害と栄養など					
期間	平成27年5月14日(木)～18日(月) [5日間]	既	参加人数	国外	500	同伴者	0
場所	パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)			国内	300	同伴者	0
間隔	4年ごと [日本開催：28年振り2回目]			合計	800	合計	0
国数	[50カ国・地域]						
会議内容	会議テーマ：「世界の新興・再興豚病の制御に向けて：アジアからの発信」 主要題目：						
期間	平成27年6月21日(日)～24日(水) [4日間]	既	参加人数	国外	750	同伴者	0
場所	国立京都国際会館(京都府京都市)			国内	350	同伴者	0
間隔	4年ごと [日本開催：初]			合計	1,100	合計	0
国数	[50カ国・地域]						
会議内容	会議テーマ：「第四紀学からみた気候変動・自然災害・文明」 主要題目：自然災害対策、気候・海洋・環境変動の予測と対応、人間と環境の動的関係、第四紀年代層序学の技術革新など						
期間	平成27年7月27日(月)～8月2日(日) [7日間]	既	参加人数	国外	800	同伴者	0
場所	名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)			国内	300	同伴者	0
間隔	4年ごと [日本開催：初]			合計	1,100	合計	0
国数	[51カ国・地域]						
会議内容	会議テーマ：「経済発展の多様性」 主要題目：国・地域間の比較だけでなく、国・地域内での民族、性別、年齢等の多様性など						
期間	平成27年8月3日(月)～7日(金) [5日間]	既	参加人数	国外	200	同伴者	0
場所	国立京都国際会館(京都府京都市)			国内	500	同伴者	0
間隔	3年ごと [日本開催：初]			合計	700	合計	0
国数	[30カ国・地域]						
会議内容	会議テーマ： 主要題目：クォーク・グルーオン・プラズマの微視的性質とその強結合性の解明など						
期間	平成27年9月27日(日)～10月3日(土) [7日間]	既	参加人数	国外	500	同伴者	0
場所	神戸ファッションマート(兵庫県神戸市)			国内	1,500	同伴者	0
間隔	2年ごと [日本開催：18年振り2回目]			合計	2,000	合計	0
国数	[80カ国・地域]						
会議内容	会議テーマ：Engineering: Innovation and Society 主要題目：持続的な成長と社会の発展の実現に向けたイノベーションなど						
期間	平成27年11月30日(月)～12月2日(水) [3日間]						
場所	国立京都国際会館(京都府京都市)						
間隔	4年ごと [日本開催：初]						

# 平成28年度共同主催国際会議候補

(提案7)

会議名		開催予定情報	
1	<b>第13回国際人類遺伝学会</b> The 13th International Congress of Human Genetics (ICHG 2016) ■母体団体：国際人類遺伝学連合 (IFGS: International Federation of Human Genetics Societies) ■主催学会：第13回国際人類遺伝学会国内組織委員会	参加人数	国外 1,000 同伴者 0
	国内 2,000 同伴者 0		
	合計 3,000 合計 0		
	国数	[62カ国・地域]	
	会議内容	会議テーマ：「ゲノム医学が拓く明日の医療」 主要題目：エピジェネティクス、ゲノム構造・多様性・機能、薬理遺伝学、複雑形質・多因子遺伝、精神遺伝学・神経遺伝学・神経変性、バイオインフォマティクス・ゲノム工学、統計遺伝学・遺伝疫学、進化遺伝学・集団遺伝学、循環器遺伝学、遺伝性疾患の治療、遺伝教育・ゲノム学教育、遺伝学における倫理的法的社会的問題等	
期間	平成28年4月3日(日)～7日(木) [5日間]		
場所	国立京都国際会館(京都府京都市)		
間隔	5年ごと [日本開催：初]		
2	<b>ゴールドシュミット会議2016</b> Goldschmidt Conference 2016 ■母体団体：米地球化学会、ヨーロッパ地球化学会 (Geochemical Society, European Association of Geochemistry) ■主催学会：日本地球化学会	参加人数	国外 1,700 同伴者 0
	国内 800 同伴者 0		
	合計 2,500 合計 0		
	国数	[50カ国・地域]	
	会議内容	会議テーマ：「Unique, Ubiquitous, Universe」 主要題目：惑星地球と隕石、岩石・鉱物化学、水圏・大気圏化学、人間活動や自然現象に伴う環境変遷等	
期間	平成28年6月26日(日)～7月1日(金) [6日間]		
場所	パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)		
間隔	毎年 [日本開催：13年振り2回目]		
3	<b>第31回国際心理学会</b> XXXI International Congress of Psychology ■母体団体：国際心理科学連合 (IUPsyS: International Union of Psychological Science) ■主催学会：公益社団法人日本心理学会	参加人数	国外 2,500 同伴者 0
	国内 3,500 同伴者 0		
	合計 6,000 合計 0		
	国数	[50カ国・地域]	
	会議内容	会議テーマ：「Diversity in Harmony: Insights from Psychology」 主要題目：	
期間	平成28年7月24日(日)～29日(金) [6日間]		
場所	パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)		
間隔	4年ごと [日本開催：44年振り2回目]		
4	<b>世界考古学会議第8回大会</b> World Archaeological Congress 8th International Conference (WAC-8) ■母体団体：世界考古学会議 (WAC: World Archaeological Congress) ■主催学会：WAC-8京都実行委員会	参加人数	国外 1000 同伴者 0
	国内 500 同伴者 0		
	合計 1,500 合計 0		
	国数	[70カ国・地域]	
	会議内容	会議テーマ：「世界各国の考古学研究の国際比較」「災害と考古学」「文化財・文化遺産保護と社会」「先住民・マイノリティ・旧植民地の文化財保護」等 主要題目：	
期間	平成28年8月28日(日)～9月2日(金) [6日間]		
場所	同志社大学今出川校地(京都府京都市)		
間隔	4年ごと [日本開催：初]		
5	<b>第15回分子磁性国際会議</b> The 15th International Conference on Molecule-Based Magnets (ICMM 2016) ■母体団体：分子磁性国際会議国際組織委員会 (International Committee of ICMM2016) ■主催学会：ICMM日本組織委員会	参加人数	国外 200 同伴者 0
	国内 300 同伴者 0		
	合計 500 合計 0		
	国数	[50カ国・地域]	
	会議内容	会議テーマ：「21世紀における機能性分子磁石の新潮流」 主要題目：新規分子磁性体の開発、機能性単分子/単一次元鎖分子磁石、機能性配位高分子磁石、多重機能性・双安定性分子磁石、金属-有機ランジナルハイブリッド磁石、量子コンピューター・スピントロニクス、スピンドYNAMIX、磁気量子計算化学、光磁性、分子磁性材料の応用	
期間	平成28年9月3日(土)～8日(木) [6日間]		
場所	仙台国際センター(宮城県仙台市)		
間隔	2年ごと [日本開催：12年振り4回目]		
6	<b>第40回国際外科学会世界総会</b> 40th Biennial World Congress of the International College of Surgeons ■母体団体：国際外科学会 (IGS: International College of Surgeons) ■主催学会：国際外科学会日本部会	参加人数	国外 500 同伴者 0
	国内 2,500 同伴者 0		
	合計 3,000 合計 0		
	国数	[112カ国・地域]	
	会議内容	会議テーマ：「心」—心のこもった外科を求めて 主要題目：外科領域における患者にやさしい治療	
期間	平成28年10月23日(日)～26日(水) [4日間]		
場所	国立京都国際会館(京都府京都市)		
間隔	2年ごと [日本開催：20年振り3回目]		
7	<b>第22回国際動物学会議および第87回日本動物学会年会合同</b> Joint meeting of the 22nd International Conference of Zoology (ICZ) and the 87th meeting of the Zoological Society of Japan ■母体団体：国際動物学会 (ISZS: International Society of Zoological Sciences) ■主催学会：公益社団法人日本動物学会	参加人数	国外 200 同伴者 0
	国内 650 同伴者 0		
	合計 850 合計 0		
	国数	[35カ国・地域]	
	会議内容	会議テーマ：「21世紀における動物学の躍動」 主要題目：分類学、生理学、発生学、生殖生物学、ゲノム科学等	
期間	平成28年11月12日(土)～19日(土) [8日間]		
場所	沖縄科学技術大学院大学(沖縄県国頭郡恩納村)、沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)		
間隔	4年ごと [日本開催：初]		

会議名		開催予定情報		
保	<b>第19回国際細胞学会議</b> The 19th International Congress of Cytology (ICG2016) ■母体団体：国際細胞学会 (IAC: The International Academy of Cytology) ■主催学会：第19回国際細胞学会議組織委員会		参加人数	国外 2000 同伴者 0 国内 3000 同伴者 0 合計 5,000 合計 0
	期間	平成28年5月28日(土)～6月1日(水) [5日間]	国数	[83カ国・地域]
	場所	パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)	会議内容	会議テーマ：「細胞診断の新たな開発の可能性」「われわれが進むべき革新的なあゆみの探索」 主要題目：
	間隔	3年ごと [日本開催：18年振り3回目]		
保	<b>第18回結晶成長国際会議</b> The 18th International Conference on Crystal Growth and Epitaxy (ICCGE-18) ■母体団体：結晶成長国際機構 (IOCG: International Organization for Crystal Growth) ■主催学会：日本結晶成長学会、公益社団法人応用物理学会		参加人数	国外 500 同伴者 0 国内 550 同伴者 0 合計 1,050 合計 0
	期間	平成28年8月7日(日)～12日(金) [6日間]	国数	[54カ国・地域]
	場所	名古屋国際会議場、名古屋マリオットアソシアホテル(愛知県名古屋市)	会議内容	会議テーマ：「基礎科学と結晶成長の工学による社会貢献」 主要題目：GaN等の各種半導体結晶からカーボンナノチューブ等の炭素系結晶、超伝導やレーザー・非線形光学等の酸化物結晶、スピントロニクス等の金属材料、原子レベルでの結晶成長基礎、その場観察技術、融液状態の解明と制御、宇宙空間・地球内部における結晶成長、結晶評価の新技术、巨大分子の単結晶成長基礎等
	間隔	3年ごと [日本開催：4回目]		
保	<b>第9回アジア太平洋小児内分泌学会</b> The 9th Biennial Scientific Meeting of the Asia Pacific Paediatric Endocrine Society (APPEs) 2016 ■母体団体：アジア太平洋小児内分泌学会 (APPEs: Asia Pacific Paediatric Endocrine Society) ■主催学会：日本小児内分泌学会		参加人数	国外 300 同伴者 0 国内 500 同伴者 0 合計 800 合計 0
	期間	平成28年11月17日(木)～20日(日) [4日間]	国数	[18カ国・地域]
	場所	東京国際フォーラム(東京都千代田区)	会議内容	会議テーマ：なし 主要題目：1. 成長障害、2. 甲状腺疾患、3. 副腎疾患、4. 性腺疾患、5. 副甲状腺疾患・骨疾患、6. 水電解質異常、7. 小児の糖尿病、8. 他(肥満症、メタボリックシンドローム)
	間隔	2年ごと [日本開催：12年振り2回目]		
保	<b>第6回国際計量経済学アジア会議</b> The Econometric Society, Asian Meeting 2016 ■母体団体：国際計量経済学会 (ES: The Econometric Society) ■主催学会：Econometric Society国内組織委員会		参加人数	国外 500 同伴者 0 国内 500 同伴者 0 合計 1,000 合計 0
	期間	平成28年8月11日(木)～13日(土) [3日間]	国数	[25カ国・地域]
	場所	同志社大学今出川キャンパス(京都府京都市)	会議内容	会議テーマ： 主要題目：
	間隔	毎年 [日本開催：7年振り2回目]		

(参考)

## 日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規（抄）

〔平成17年10月4日  
日本学術会議第1回幹事会決定〕

(共同主催の要件)

第31条 共同主催とする国際会議は、原則として、次の各号に掲げる要件に該当するものとする。

- (1) 国際会議の開催について、次の要件を満たすことが明らかであること。
  - ア 母体団体において、国際会議の日本開催が決定したものであること。
  - イ 関係分野に影響を与え学術の振興に寄与するものであること。
- (2) 国際会議が次の一の性格を備えるものであること。
  - ア 主題となる研究の我が国の水準が世界水準を超えているものであること。
  - イ 主題となる研究が複合又は学際領域のものであること。
  - ウ 我が国及び世界において共通する科学的諸問題の解決を促進するものであること。
  - エ 時代の要請する主題であって優先性が高いものであること。
- (3) 学術会議が国際会議の母体団体と次の要件の一に該当する関係を有するものであること又は加入国際学術団体が後援する国際会議であること。
  - ア 加入国際学術団体又はその下部機構が母体団体であること。
  - イ 学術会議と緊密な連絡の必要性のある国際学術団体が母体団体であること。

(申請)

第32条 共同主催の申請をしようとする国際会議に対応する学術研究団体の代表者は、当該会議の日本開催が決定したときは、様式第9に定める申請書をもって会長に申請を行うことができる。

2 前項の申請書は、国際会議を開催する年度の3年度前の11月末日までに提出するものとする。

(共同主催の審議)

第33条 会長は、前条第1項の申請書を受理したときは、共同主催の候補の選定のため、国際委員会に審議させるものとする。

- 2 国際委員会は、同委員会に置かれる国際会議主催等に関する分科会（以下「主催等検討分科会」という。）において、前項の審議を行わせるものとする。
- 3 主催等検討分科会は、前項の審議を行うため、各部に当該会議の共同主催の適否等について意見を聴くことができる。
- 4 主催等検討分科会における審議は、会議を開催する前々年度の2月末までに終えなければならない。  
但し、複数回に分けて結論を出すこともできる。

(共同主催の決定)

第34条 会長は、前条の審議結果に基づき、幹事会の議決を経て共同主催の候補を決定する。

- 2 共同主催の候補となった国際会議は、閣議口頭了解を得ることとする。
- 3 会長は、前項の口頭了解をもって共同主催を決定し、その旨を申請者に通知するものとする。

(事務及び経費の分担)

第35条 会長は、前条第2項の決定後、当該会議を共同して主催する学術研究団体の代表者と準備及び運営等に関する事務及び経費の分担について協議するものとする。

- 2 国際会議開催経費のうち、前項の協議の結果国費で支弁することとなった以外のものについては、共同して主催する学術研究団体が負担するものとする。なお、共同して主催する学術研究団体が負担することとなった経費に充当される参加費の徴収又は寄附金の募集等、及びそれらの経理事務については、当該学術研究団体が取り扱うものとする。
- 3 当該事務及び経費の分担に係る合意事項については、各主催機関において確認を要するものとする。

## 平成26年度代表派遣実施計画

## 〈第1区分〉

番号	会議名	会期	開催地	派遣人員
1	第20回国際土壌科学連合(IUSS)国際土壌科学会議	2014/6/8 ~ 2014/6/13	濟州 (韓国)	1
2	国際微生物学連合(IUMS)国際微生物会議2014	2014/7/27 ~ 2014/8/1	モントリオール (カナダ)	1
3	第40回宇宙空間研究委員会(COSPAR)科学総会	2014/8/2 ~ 2014/8/10	モスクワ (ロシア)	1
4	第18回国際純粋応用生物物理学連合(IUPAB)国際生物物理学大会	2014/8/3 ~ 2014/8/7	ブリスベン (オーストラリア)	1
5	国際結晶学連合(IUCr)総会	2014/8/5 ~ 2014/8/12	モントリオール (カナダ)	1
6	国際数学連合(IMU)総会及び国際数学者会議	2014/8/10 ~ 2014/8/21	ソウル (韓国)	1
7	国際地理学連合(IGU)2014年国際地理学会議	2014/8/14 ~ 2014/8/22	クラコフ (ポーランド)	1
8	第31回国際電波科学連合(URSI)総会	2014/8/16 ~ 2014/8/23	北京 (中国)	1
9	国際理論応用力学連合(IUTAM)総会	2014/8/17 ~ 2014/8/20	リンビュー (デンマーク)	1
10	第19回国際自動制御連盟(IFAC)世界大会	2014/8/22 ~ 2014/8/30	ケープタウン (南アフリカ)	1
11	第33回南極研究科学委員会(SCAR)総会	2014/8/23 ~ 2014/9/3	オークランド (ニュージーランド)	1
12	第23回国際光学委員会(ICO)総会・理事会	2014/8/26 ~ 2014/8/29	サンティアゴ・デ・コンポステーラ (スペイン)	1
13	第31回国際科学会議(ICSU)総会	2014/8/30 ~ 2014/9/3	オークランド (ニュージーランド)	2
14	第21回国際鉱物学連合(IMA)総会	2014/9/1 ~ 2014/9/5	ヨハネスブルク (南アフリカ共和国)	1
15	2014年度海洋研究科学委員会(SCOR)総会	2014/9/15 ~ 2014/9/18	ブレーメン (ドイツ)	1
16	国際農業工学会(CIGR)2014年総会・幹部会及び関連会議	2014/9/15 ~ 2014/9/19	北京 (中国)	1
17	第13回太陽地球系物理学科学委員会(SCOSTEP)総会(STP-13)及びVarSITI国際協同プログラム第2回運営会議	2014/10/12 ~ 2014/10/17	西安 (中国)	1
18	世界工学団体連盟(WFEO)総会・理事会・災害リスクマネジメント委員会	2014/11/2 ~ 2014/11/7	アブジャ (ナイジェリア)	1
19	科学技術データ委員会(CODATA)第24回国際会議・第29回総会	2014/11/3 ~ 2014/11/7	ニューデリー (インド)	1
				20

## 〈第2区分〉

番号	会議名	会期	開催地	派遣人員
1	国際北極科学委員会(IASC)理事会・北極科学サミット週間	2014/4/5 ~ 2014/4/11	ヘルシンキ (フィンランド)	1
2	IAP執行委員会及びIAC理事会等ジョイント会議	2014/5/15 ~ 2014/5/16	ローマ (イタリア)	2
3	国際科学会議(ICSU)フューチャーアース科学委員会	2014/6/3 ~ 2014/6/6	北京 (中国)	1
4	災害リスク統合研究(IRDR)シンポジウム	2014/6/7 ~ 2014/6/9	北京 (中国)	1
5	太陽地球系物理学科学委員会(SCOSTEP)理事会	2014/10/12 ~ 2014/10/12	西安 (中国)	1
6	IAP執行委員会	2014/11/6 ~ 2014/11/7	パリ (フランス)	2
7	国際科学史・科学基礎論連合科学史部会(IUHPS-DHST)評議会	2014/12/4 ~ 2014/12/6	マルセイユ (フランス)	1
8	第68回地質科学連合(IUGS)理事会	2015/2/20 ~ 2015/2/22	北京 (中国)	1
				10

<第3区分>

番号	会議名	会期	開催地	派遣人員
1	国際科学会議(ICSU)アジア・太平洋地域委員会会合	2014/4/25 ~ 2014/4/26	クアラルンプール (マレーシア)	1
2	グローバルヤングアカデミー総会	2014/5/21 ~ 2014/5/25	チリ (サンチャゴ)	2
3	第11回国際人権ネットワーク隔年総会	2014/5/26 ~ 2014/5/28	ハレ (ドイツ)	1
4	世界科学フォーラム(WSF)運営委員会	2013/6/13	ブタベスト (ハンガリー)	1
5	国連国際防災戦略/科学技術諮問グループ会合	会期末定	ジュネーブ (スイス)	1
6	国際憲法学会(IACL)第9回世界大会	2014/6/16 ~ 2014/6/20	オスロ (ノルウェー)	1
7	国際美術史学会(CIHA)国際研究集会及び年次総会	2014/6/26 ~ 2014/6/28	マルセイユ (フランス)	1
8	国際宗教学宗教学会(IAHR)理事会	2014/7/30 ~ 2014/8/3	ケープタウン (南アフリカ共和国)	1
9	第5回女性物理学国際会議(国際純粋・応用物理学連合(IUPAP)関連会議)	2014/8/6 ~ 2014/8/9	ウォータールー (カナダ)	1
10	第7回IAP若手科学者会議2014	2014/9/10 ~ 2014/9/12	天津 (中国)	2
11	湖水と人類の相互作用に関する国際ワークショップ(国際第四紀学連合(INQUA)関連会議)	2014/9/15 ~ 2014/9/19	アンカラ・コンヤ (トルコ)	1
12	第4回国際古生物学会議及び国際古生物学協会(IPA)総会(国際地質科学連合(IUGS)関連団体の総会)	2014/9/28 ~ 2014/10/3	メンドーサ (アルゼンチン)	1
13	日本カナダ女性研究者交流	2014年9月以降予定	未定 (カナダ)	1
14	第28回国際科学会議(ICSU)科学計画評価委員会	2014年10~11月予定	パリ (フランス)	1
15	国際科学会議(ICSU)アジア・太平洋地域委員会会合	会期末定	未定 (未定)	1
16	第2回国際科学史・科学基礎論連合科学史部会(IUHPS-DHST)アジア会議委員会	2014/12/4 ~ 2014/12/7	台北 (台湾)	1
17	国際科学会議(ICSU)「都市環境の変化と健康」科学委員会及び専門家ワークショップ	2014/12/8 ~ 2014/12/12	アモイ (中国)	1
18	第29回国際科学会議(ICSU)科学計画評価委員会	2015年3月予定	パリ (フランス)	1
19	Gサイエンス会合	2015/3/1 ~ 2015/3/4	ハレ (ドイツ)	1
				21

○代表派遣：平成26年4-6月期の会議派遣候補者

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
1	国際北極科学委員会(IASC)理事会 会・北極科学サミット週間	4月5日 ～	7日	ヘルシンキ	大畑 哲夫 特任連携会員 (独)海洋研究開発機構プログラムディレクター	IASC分科会 第2区分
		4月11日		フィンランド		
2	国際科学会議(ICSU)アジア・太平洋 地域委員会会合	4月25日 ～	2日	クアラルンプール	山形 俊男 連携会員 (独)海洋研究開発機構アプリケーションラボ所長	国際委員会 第3区分
		4月26日		マレーシア		
3	IAP執行委員会及びIAC理事会等 ジョイント会議	5月15日 ～	2日	ローマ	大西 隆 第三部会員 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授	国際委員会 第2区分
		5月16日		イタリア		
4	IAP執行委員会及びIAC理事会等 ジョイント会議	5月15日 ～	2日	ローマ	春日 文子 第二部会員 国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長	国際委員会 第2区分
		5月16日		イタリア		
5	グローバルヤングアカデミー総会	5月21日 ～	5日	チリ	駒井 章治 特任連携会員 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科准教授	若手アカデミー委員会 第3区分
		5月25日		サンチアゴ		
6	グローバルヤングアカデミー総会	5月21日 ～	5日	チリ	狩野 光伸 特任連携会員 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授	若手アカデミー委員会 第3区分
		5月25日		サンチアゴ		
7	第11回国際人権ネットワーク隔年総 会	5月26日 ～	4日	ハレ	吾郷 真一 第一部会員 立命館大学法学部教授	国際委員会 第3区分
		5月28日		ドイツ		
8	国際科学会議(ICSU)フューチャー アース科学委員会	6月3日 ～	5日	北京	安成 哲三 第三部会員 人間文化研究機構総合地球研究学研究所所長	国際委員会 第2区分
		6月6日		中国		
9	災害リスク統合研究(IRDR)シンポジ ウム	6月7日 ～	3日	北京	小池 俊雄 連携会員 東京大学大学院工学系研究科教授	土木工学建築学委員会 第2区分
		6月9日		中国		
10	第20回国際土壌科学連合(IUSS)国 際土壌科学会議	6月8日 ～	6日	済州	犬伏 和之 特任連携会員 千葉大学大学院園芸学研究科教授	IUSS分科会 第1区分
		6月13日		韓国		
11	世界科学フォーラム(WSF)運営委員 会	6月13日	1日	ブタペスト	春日 文子 第二部会員 国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長	国際委員会 第3区分
				ハンガリー		
12	国際憲法学会(IACL)第9回世界大 会	6月16日 ～	5日	オスロ	辻村 みよ子 第一部会員 明治大学法科大学院教授	法学委員会 第3区分
		6月20日		ノルウェー		
13	国際美術史学会(CIHA)国際研究集 会及び年次総会	6月26日 ～	3日	マルセイユ	中村 俊春 特任連携会員 京都大学大学院文学研究科教授	史学委員会 第3区分
		6月28日		フランス		

提案19は別添なし。

提案10～18はシンポジウム等関係のため別添3を御覧ください。